

はあとふる



Info. 6 コミュニケーション

本校では「一人一人がより豊かに学習や生活ができるようになる自立活動の授業づくり（令和7年度）」について校内研修を行っています。自立活動の学習指導要領を基に、研修部で研修ツールを作成し、取り組んでいます。今回は「コミュニケーション」についての指導例を紹介します。

(1) コミュニケーションの基礎的能力に関すること		自立活動編 P.92
▲自分の気持ちや要求を適切に相手に伝えられない。相手の意図が理解できず、コミュニケーションが成立しにくい。	○絵カードを使ったり、簡単なジェスチャーを交えたりし、要求を伝える手段を広げる指導をする。 ○人とのやりとりや人と協力して遂行するゲームなどをしたりするなど、認知発達や社会性の育成を促す学習を行い、自分の意図を伝えたり、相手の意図を理解したりして適切なかわりができるように指導をする。	
(2) 言語の受容と表出に関すること		自立活動編 P.94
▲思ったことをそのまま口にして相手を不快にさせるような表現を繰り返してしまう。	○言葉のやり取りの指導を工夫するほか、体の動きを通して気持ちをコントロールする力を高めること、人と会話するときのルールやマナーを明確にして理解させること、会話中に相手の表情を気にかけることなどの指導をする。	
(3) 言語の形成と活用に関すること		自立活動編 P.96
▲思いや考えを正確に伝える語彙が少ない。	○実体験、写真や絵と言葉の意味を結び付けることや、ICT機器等を活用し、見る力や聞く力を活用しながら言語の概念を形成するように指導をする。	
(4) コミュニケーション手段の選択と活用に関すること		自立活動編 P.97
▲順を追って説明することが困難であるため、相手に分かりやすい表現をすることが難しい。	○簡単な絵に吹き出しや簡単なセリフを書き加えたり、コミュニケーションボード上から伝えたい項目を選択したりするなどの手段を練習し、必要に応じて適切なものを選んで使用することができるように指導をする。	
(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること		自立活動編 P.100
▲会話の内容や周囲の状況を読みとることが難しいことから、状況にそぐわない受け答えをしてしまう。	○相手の立場に合わせた言葉遣いや場に応じた声の大きさなど、場面にふさわしい表現方法を身に付けるための指導をする。 ○実際の生活場面で、状況に応じたコミュニケーションを学ぶことができるような指導をする。	